

令和5年度一般社団法人群馬県社会就労センター協議会事業報告

【令和5年度 重点項目】

- 人権侵害ゼロの事業所集団であり続ける
- 群馬県共同受注窓口の円滑な運営と参加事業所の拡大
- 優先調達推進法を活用した官公需及び民需の推進
- 各部会活動の充実・強化
- 自主製品の改良・開発及び販路拡大
- 農福連携事業の推進
- 現場支援の推進(技術指導の推進及び施設外就労の機会の拡大促進)
- 人材育成支援の強化(個別コンサルタント派遣事業(インターネット関連強化充実)の実施及び工賃向上研修会の開催)
- 共同受注窓口の活性化(マッチングの強化、「あったかぐんまのハートネット」の活用強化)

1. 基本方針

- ① 組織の基盤強化と拡大
- ② 共同受注窓口の運営に群馬県社会就労センター協議会全体で取り組む
- ③ 社会就労センターの啓発活動
- ④ 会員施設全体の工賃引上げ
- ⑤ 会員施設全体の商品の品質向上及び技術向上
- ⑥ 施設商品の宣伝と工賃引上げを目的とした事業の実施
- ⑦ 商品作りや労務提供の技術水準を高めることを目的とした、全体、部門別研修会の実施
- ⑧ 施設長及び職員の資質向上と連帯の強化
- ⑨ 全国セルフ・関東セルフ協との連携の強化

2. 事業活動

一般社団法人群馬県社会就労センター協議会は、利用者一人一人の人権を尊重して、利用者の自立と自己実現を目指し、利用者を主体とした就労・生産活動支援サービスを提供するため、以下の活動に取り組んだ。

「働くことを希望するすべての障害者のニーズや状態に応えられる多様な就労の場を設けること」を最優先課題として活動を行った。

また、社会就労センターが実施する事業の質の向上を目指して、各種大会、研修会の実施や調査活動・宣伝活動を行った。

一方、会員施設は互いに協力して、利用者が生き甲斐をもって仕事や活動に取り組めるように支援技術や人権倫理意識を磨き、利用者の生活の質の向上を目指すとともに、群馬県の障害福祉の向上に寄与できるように努めた。

本協議会では、平成26年4月から、工賃向上を目的とする「群馬県障害者施設等共同

受注窓口」の運営を受託している。大口の共同受注に応じられる体制を整え、共通レシピによる焼き菓子の開発、共通献立による弁当の大量注文受注、ペットボトル飲料水「極」の委託製造販売や群馬県の支援による農福連携事業等を実施してきた。

新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日から感染症法上は2類から5類へと引き下げられたことから、就労支援事業所では利用者の安全確保のため、感染防止対策を徹底しながら、事業振興を展開した。

○共同受注窓口運營業務受託事業

共同受注に係る窓口のホームページの運營業務、併せて共同販売会の開催、広告チラシの作成等により販売促進を図った。

重要な課題として、参加事業所数の拡大があったが、継続して積極的に会員拡大・加入促進を図った結果、共同受注窓口に参加する事業所の数は89事業所まで増加した。

マッチングについては、官公需・民需を含め619件の受注相談があり、2,300万円を超える実績となった。その中で新規のデータ入力作業と駐車場清掃や簡易トイレの梱包作業、ウレタンボードのテープ貼りなど4件の大口共同受注については、引き続き行うことができ、共同受注窓口としての一定の成果を挙げられた。

商品強化コンサルタント派遣事業については、新設間もない事業所の育成支援による役員派遣コンサルを1事業所で実施し、SNSマーケティング講習コンサル派遣を1事業所に実施して成果を上げることができた。

研修会事業としては、BCP策定支援研修会を5月25日に51名の参加を得て実施した。実務研修として2月20日に群馬県立農林大学校において「トラクター操作技術研修会」を8名の参加を得て開催した。

また、昨年4月に活動を開始した群馬県障害者芸術文化活動支援センターこ・ふぁんととの共催事業として、アート研修会を合計4回開催してアートサポーターの人材の育成を図った。

共同販売会は、5月にイオンモール高崎で、12月にはスマーク伊勢崎にて「あったかぐんまのハートバザール」を、また、7月にはスマーク伊勢崎で、1月にはけやきウォーク前橋にて「SELP SHOP」を、更には、10月に群馬県庁で「バザール de 群馬県庁」を開催することができた。

○農業分野におけるマッチング強化事業

平成28年度から新たな取り組みとして、群馬県と群馬県社会就労センター協議会とで委託契約を締結して本格的な事業展開に努めてきた。

また、県農政部との連携を強化して、県の地域出先機関及び地域JAを通じて農業法人等とのマッチング拡大を図った。

具体的には、農業法人等への役務の提供(いわゆる施設外就労)、白菜等野菜の共同栽培のマッチング、トラクター操作技術研修会の開催や農福連携マルシェの開催等を行った。

農福連携の役務提供農業法人等は高田農園(前橋市)、関口農園(前橋市)、

小林グリーンファーム(伊勢崎市)、角田農園(渋川市)、永井農園(高崎市)を始め、令和5年度には新規に津久井農園(渋川市)、久留馬総業(高崎市倉渕町)、内田養蚕(太田市)、定方農園(太田市)を加え41農業法人等に拡大した。

「農福連携マルシェ in ぐんま」は、7月スマーク伊勢崎で開催した「ぐんま SELP SHOP」と12月にスマーク伊勢崎で開催の「あったかぐんまのハートバザール」と同時開催することができた。

農福連携部会を開催して、各部会員の知識・技術の習得及び共有を図った。また、障害者福祉事業所の栽培計画の意向調査を実施して、今後の販路開拓や農業指導等の計画的な展開に向けて歩みを進めた。

14年前から取り組んでいるニッポンハムの中元・歳暮のギフト販売は、毎年売上げを伸ばし、三方得から新たに取り組みを始める事業所も増加している。消毒用アルコール製剤の共同購入も継続事業として定着しつつある。

関係機関との連携・協力に関しては、中央の情報を迅速に収集して、各会員の事業運営に生かすことができるよう、上部組織(全国社会就労センター協議会・関東社会就労センター協議会)との連携を図った。令和3年4月の報酬改定では「施設外就労加算」の廃止や「平均工賃月額」に応じた報酬体系に加え、「利用者の就労や生産活動等への参加」をもって一律に評価する報酬体系の新設等の見直しが行われ、就労継続B型の置かれている状況が大きく変化していることから、令和6年4月の報酬改定に向けて全国セルフ協を通じて国に改善を働きかけた。

これらの情報を迅速かつ正確に会員に伝達するため、群馬県社会就労センター協議会のネットワークを構築して会員へのメール配信により、会員相互の情報の共有、連携の強化を図った。

◎令和5年度活動状況報告

○理事会・総会・役員会等

- ・ 4 / 27 第1回役員会開催(役員改選、定時総会及び職員研修会開催他)
- ・ 5 / 10 監事監査実施
- ・ 5 / 22 第24回理事会開催(令和4年度事業報告、収支決算報告、総会議題等)
- ・ 5 / 25 総会開催(令和4年度事業報告、収支決算報告、役員改選等)
- ・ 6 / 6 役員改選に伴う役員変更登記手続き
- ・ 6 / 13 役員改選に伴う役員変更登記完了
- ・ 7 / 7 第2回役員会開催(コンサル派遣、SELPSHOP、予算要望他)
- ・ 9 / 22 第3回役員会開催(バザール de 群馬県庁.ぐんま DWAT 他)
- ・ 10 / 24 第4回役員会開催(関東セルフ研究大会、ブロック会議他)
- ・ 11 / 24 第5回役員会開催(あったかぐんまのHB、MOS ごと美術館他)
- ・ 12 / 21 第6回役員会開催(トラクター研修会、役員研修会他)
- ・ 3 / 8 第7回役員会開催(令和6年度事業計画基本方針・予算編成方針他)
- ・ 3 / 27 第25回理事会開催(5年度補正予算、6年度事業計画及び収支予算等)

○ブロック会議

- ・ 9 / 8 中毛ブロック会議開催
西毛ブロック会議開催
- ・ 9 / 28 東毛ブロック会議開催
- ・ 9 / 29 北毛ブロック会議開催

○共同販売会

・ 第18回あったかぐんまのハートバザール

4 / 03 出店募集開始(メール一斉配信)

4 / 27 役員会により開催決定

4 / 28 参加事業所集約(22事業所)

5 / 13~14 開催(イオンモール高崎イーストコート)来客数505人

606, 910円売上げ 来客数505人

・ 第23回 SELP SHOP in スマーク伊勢崎

6 / 06 出店募集開始(メール一斉配信)

6 / 23 参加事業所集約(19事業所)

7 / 07 役員会により開催決定

7 / 12~13 開催(スマーク伊勢崎はるなプラザ)

608, 900円売上げ 来客数540人

「農福連携マルシェ in ぐんま」同時開催 34, 200円売上げ

・ バザール de 群馬県庁

8 / 07 出店募集開始(メール一斉配信)

8 / 29 担当者打合せ会議開催

9 / 08 参加事業所集約(24事業所)

10 / 12 開催(群馬県庁1階県民ホール南側)

469, 123円売上げ

・ 第19回あったかぐんまのハートバザール

10 / 16 出店募集開始(メール一斉配信)

11 / 10 参加事業所集約(22事業所)

11 / 24 役員会により開催決定

12 / 19~20 開催(スマーク伊勢崎はるなプラザ)

634, 040円売上げ

「農福連携マルシェ in ぐんま」同時開催 126, 400円売上げ

・ 第24回 SELP SHOP in けやきウォーク前橋

- 12/07 出店募集開始(メール一斉配信)
12/21 役員会により開催決定
12/22 参加事業所集約(18事業所)
1/26~27 開催(けやきウォーク前橋けやきコート)
1,017,270円売上げ

○研修会

• BCP策定支援研修会

- 4/27 役員会により開催承認、会員施設に開催案内メール配信
5/25 研修会開催
会場：群馬県社会福祉総合センター203会議室
講師：群馬県社会福祉協議会災害福祉支援センター
センター長 鈴木伸明氏
51名参加

• BCP策定フォローアップセミナー(群馬県・群馬県社会福祉協議会主催)

- 7/18 会員施設に開催案内メール配信
8/28 研修会開催
会場：群馬県市町村会館大会議室
講師：仏教大学 専門職サポートセンター
専任講師 後藤至功氏

• アート研修会(群馬県障害者芸術文化活動支援センターこ・ふぁんと共催事業)

- 6/20 知的財産権について
7/25 アートサポーター養成セミナー第1回
9/27 アートサポーター養成セミナー第2回
11/21 アートサポーター養成セミナー第3回
会場：群馬県青少年会館
前橋市荒牧町2-12
37名参加

• トラクター操作技術研修会

- 10/10 県立農林大学校と日程調整
12/26 研修会開催案内・要項のメール配信
1/31 参加募集締切
2/20 研修会開催
会場：群馬県立農林大学校
講師：群馬県立農林大学校研修部 主任 新井裕太氏
8名参加

○工賃向上コンサルタント派遣事業

- ・ 5/09 派遣希望調査をメールにて通知
- ・ 6/09 派遣希望調査締め切り
- ・ 6/23 [個別]派遣希望集約(社会就労センターぴいす、麦の家、ゆーハウス前橋)
- ・ 7/07 第2回役員会にてコンサルタント派遣方針決定
[個別]3事業所(社会就労センターぴいす、麦の家、ゆーハウス前橋)
- ・ 7/27 コンサル希望事業所[麦の家]の現地調査(会長、副会長、事務局)
- ・ 7/28 コンサル希望事業所[ゆーハウス前橋]の現地調査(会長、副会長、事務局)
- ・ 8/17 障害政策課にコンサルタント派遣協議
- ・ 8/21 障害政策課よりコンサルタント派遣承認
- ・ 8/28 麦の家よりコンサルタント派遣辞退連絡
- ・ 8/29 コンサル派遣事業所へ決定通知
- ・ 8/31 役員派遣コンサルタント実施に伴う講師派遣依頼(光明園へ)
- ・ 8/31 株式会社アレドレとコンサルタント派遣委託契約締結

[個別派遣]

●社会就労センターぴいす(株式会社アレドレ)

①9月28日 ②10月26日 ③11月22日 ④12月27日 ⑤1月25日 ⑥2月22日 実施

[役員派遣]

●ゆーハウス前橋

①9月04日 ②10月02日 ③11月06日 ④12月04日 ⑤1月15日 ⑥3月11日 実施

○マッチングの状況

- ・ 別添のとおり

○推進・評価委員会

- ・ 7 / 31 第17回推進・評価委員会開催(社会福祉総合センター特別会議室)
報告事項：①委員の委嘱について
②令和4年度マッチングの状況について
③農福連携事業の状況について
④年度別マッチング状況について
⑤その他

- ・ 2 / 26 第18回推進・評価委員会開催(社会福祉総合センター特別会議室)
報告事項：①令和5年度マッチングの状況について
②農福連携事業の状況について
③その他(HP掲載等)

○農福連携部会

- ・ 5 / 17 第28回農福連携部会開催
 - (1) 新しい野菜、群馬の野菜栽培について
 - (2) 「農福連携マルシェ in ぐんま」について
 - (3) 令和4年度農福連携役務作業実績について

- ・ 6 / 29 第29回農福連携部会開催
 - (1) NPO法人群馬県スローフード協会との関わりについて
 - ・ 群馬の伝統野菜の栽培に向けて
 - (2) 「農福連携マルシェ in ぐんま」について
 - (3) 第1四半期農福連携役務作業実績について

- ・ 9 / 20 第30回農福連携部会開催
 - (1) 役務作業工賃時間給の改定について
 - (2) NPO法人群馬県スローフード協会との関わりについて
 - ・ 群馬の伝統野菜の講座開催に向けて
 - (3) 12月開催「農福連携マルシェ in ぐんま」について
 - (4) 第2四半期農福連携役務作業実績について

- ・ 2 / 14 第31回農福連携部会開催
 - (1) 令和6年度作付計画について
 - (2) 12月開催「農福連携マルシェ in ぐんま」の結果について
 - (3) 第3四半期農福連携役務作業実績について